

(8) 村のれきし年表

時 代	西れき	お も な こ と が ら
奈 安 良 土 か 桃 ら 山	728 1051 1189 1333	○白河軍團 <small>ぐんなん</small> がおかれた。 ○前9年の役 <small>えき</small> おこり、源義家 <small>みなもとよしいえ</small> があべ氏 <small>し</small> をやぶった。 ○源賴朝 <small>みなもとよりとも</small> 、奥州藤原氏 <small>おうしゅとうはらし</small> をほろぼした。 ○結城宗広 <small>ゆうきむねひろ</small> の弟、祐義 <small>ゆうぎ</small> 、片見 <small>かたみ</small> ひこ三郎 <small>みつろう</small> といい、形見館 <small>かたみかん</small> をきずく。
江 戸	1741 1783 1798 1809 1830	○このころ釜子地方 <small>たかごち</small> は高田はんの支配 <small>しはい</small> にあった。 ○この年天明 <small>てんめい</small> の大ききん <small>だいききん</small> があった。 ○浅川 <small>あさかわ</small> そう動 <small>どう</small> があった。 ○陣屋 <small>じんや</small> を浅川から釜子にうつした。 ○このころ天保 <small>てんぱう</small> のききん <small>ききん</small> があり、不作 <small>ふさく</small> がつづいた。
明 治 ・ 大 正 ・ 昭 和	1868 1874 1887 1916 1918 1924 1934 1941 1947 1955 1961 1964 1968	○ぼしん戦争 <small>やきうち</small> で釜子じんやは焼打ち <small>やきうち</small> にあい、落陣 <small>らくじん</small> した。 ○釜子小 <small>こうしこ</small> 、小野田小 <small>おのだこ</small> が創立 <small>そうりつ</small> された。 ○白河に汽車 <small>きしゃ</small> が走った。(東北本線) ○白河とたなくら間 <small>ま</small> を汽車 <small>きしゃ</small> が走った。(白棚鉄道 <small>はくばうてつどう</small>) ○白河と石川間にトテ馬車 <small>とうめいしゃ</small> が走った。 ○白河と竹貫 <small>たけぬき</small> の間 <small>ま</small> 、乗合自動車 <small>のりあいじどうしゃ</small> が開通 <small>かいとう</small> した。 ○石川、浅川間に水郡線 <small>すいぐんせん</small> が通った。 ○釜子小 <small>こうしこ</small> 、小野田小 <small>おのだこ</small> は国民学校 <small>こくみんがっこう</small> に名 <small>な</small> がかわった。 ○ふたたび小学校と名 <small>な</small> があらためられ、あらたに釜子中 <small>こうしちゅう</small> 、小野田中 <small>おのだちゅう</small> ができる。 ○釜子村、小野田村が合併 <small>こうへい</small> し東村 <small>とうそん</small> が生まれた。小貫 <small>おのきん</small> 、大田わ <small>おおたわ</small> 地区 <small>く</small> は石川ぐん浅川町 <small>あさかわまち</small> に編入 <small>へんにゅう</small> された。 ○釜子中 <small>こうしちゅう</small> 、小野田中 <small>おのだちゅう</small> が統合 <small>とうごう</small> してあらたに東中 <small>とうちゅう</small> ができる。 ○東村立幼稚園 <small>とうそんりつようちえん</small> ができた。 ○母畠地区 <small>ほばたく</small> 開拓 <small>かいたく</small> じぎょうが、国営総合パイロットじぎょうとしてはじめられた。